

ニスコラム

なぜ勉強は必要なのか？

ニスコ進学スクール平岡緑・平岡公園教室



ニスコホームページも
併せてご覧ください。

こんにちは、ニスコ進学スクール平岡緑・平岡公園教室担当の成田です。
きっと、これを読んでいる生徒の皆さん、そしてお父様・お母様も学生の時代に一度は考えたことがあるのではないで
しょうか。

“なぜ勉強するのだろうか？”と。

今回はこの永遠のテーマについて、私なりの「解」を提示しようと思います。「高校・大学受験で合格するためだよ」とか、
「将来のためだ」という大人がいたり、様々な「解」がありますよね。正直、そのどれもが正解で、とある眼鏡をかけた少年
のセリフの如く、『真実はいつも1つ!』と断言できるほどの唯一解というものは存在しないのです。

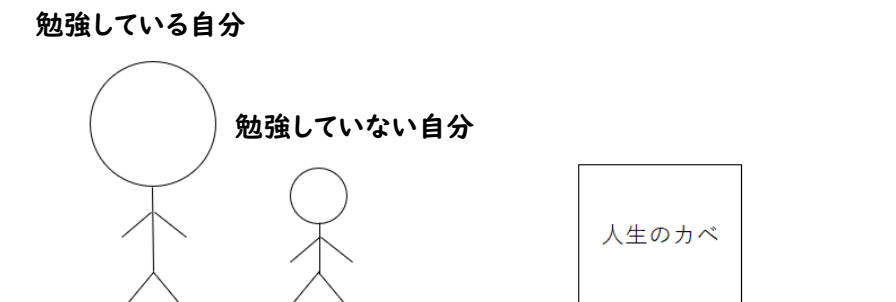
◆勉強している人と勉強していない人の違いとは…

私も学生のとき、いつも疑問に感じていました。“何のために勉強しているのだろうか？”と。学生の頃からずっと考えてき
たのですが、最近になってやっと私の中で1つの「解」が見つかったので、生徒たちにも共有しました。それを今回は、こ
でも共有させていただきたいと思います。

「勉強していない自分(右)」と「勉強している自分(左)」という2種類の人間がいると仮定しましょう。

(下のイメージ図を参照ください)

イメージ



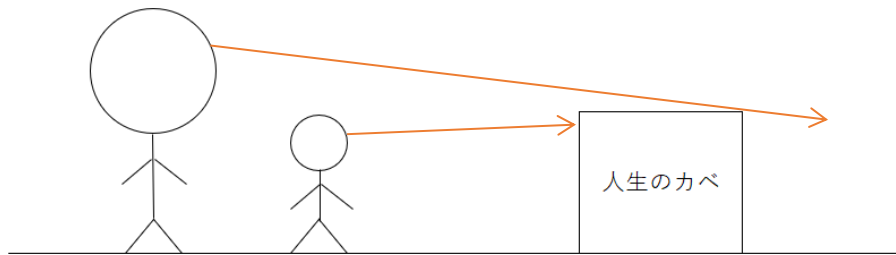
さて、ここで2人の違いは何でしょう。頭の大きさ、腕の長さ、足の長さ…確かにそれもそうですが、この2人の最も大きな
違いは“見える視界が違う”ということです。

裏へ続く

◆見える視界が違うことによる利点とは…

下のイメージ図のように、2人の前に「人生のカベ」というものがあったとしましょう。小学生であれば、「中学受験」とか「検定」とか「習い事の発表会」あたりでしょうか。中学生であれば「高校受験」などになるでしょうか。様々な事柄に代替して考えることができるかと思います。

「勉強していない自分(右)」の視界からは「人生のカベ」しか見えません。ですが、「勉強している自分(左)」から見た視界はどうでしょう。そう、彼には「人生のカベ」の向こう側が見えるのです。



向こう側が「見える人間」と「見えない人間」とでは何が変わるか。それは、**“未来への考え方”**だと思います。

向こう側が「見えない人間＝勉強していない自分」は、向こう側を見ることができないので、きっと未来に対して「不安」に感じることでしょう。一方、向こう側が「見える人間＝勉強している自分」は、このカベの向こうに見える景色に「期待」をするのではないのでしょうか。

つまり、勉強とは、この2人で指すところの「身長」であり、この「身長＝勉強の度合い」が高ければ高いほど、より遠くを見渡せるようになり、未来に対して肯定的な考え方や新しい視野を持てるようになるのではないのだろうか。

というのが、私が辿り着いた「解」の1つです。

先述した通り、この議論に正解はありません。ですが、たくさんある中の1つの「解」のヴァリエーションとしては間違っていないと思っています。

私は今でもたくさんの勉強をしています。新しい知識・知見を得たとき、視野が広がって、とても嬉しく、楽しい気分になることがあります。この感覚こそが勉強の本質ではないかと確信しております。

ニスコ進学スクール平岡緑・平岡公園教室の塾生は、「知識欲」の高い生徒たちがたくさんおります。ですが、決して全員が最初からそうだったわけではありません。新たな視野を得るためには、ある意味で「痛み」が必要です。この「痛み」の正体こそ「努力」や「新しい挑戦」だと考えております。この「痛み」を乗り越えた生徒たちが一気に成長する様子を、この教室でたくさん目の当たりにしてきました。

これを読んでいる君も一緒に「新しい視野」を手に入れるために「挑戦」してみませんか。まずは体験授業で雰囲気をつかんでからでも構いません。最初の一步が肝心です。君の「挑戦」を講師一同、お待ちしております。